
シンポジウム

新卒後臨床研修制度の現状と問題点

Present State and Problems in the New Postgraduate Training Program

第 618 回新潟医学会

日 時 平成 17 年 12 月 10 日 (土)
会 場 新潟大学医学部 有壬記念館

司 会 内山 聖教授 (小児科), 鈴木栄一教授 (総合診療部)
演 者 渡邊健吾 (新潟県福祉保健部医薬国保課), 長谷川隆志 (総合診療部), 富所 隆 (新潟県厚生連
長岡中央総合病院), 鈴木正司 (信楽園病院), 小林武弘 (小児科), 長谷川 功 (済生会新潟第
二病院産婦人科), 北村秀明 (精神科), 布施克也 (新潟県立松代病院内科)

1 新潟県内の臨床研修に関するアンケート調査

渡邊 健吾

新潟県福祉保健部医薬国保課

Questionary Survey about the Clinical Training in Niigata

Kengo WATANABE

*Medical and Pharmaceutical Affairs and National Health Insurance
Division of Department of Health and Social Welfare of
Niigata Prefectural Government*

要 旨

臨床研修制度の改善点を探るため、県内全ての 2 年目の臨床研修医を対象にアンケート調査

Reprint requests to: Kengo WATANABE
Medical and Pharmaceutical Affairs and
National Health Insurance Division of
Department of Health and Social Welfare of the
Niigata Prefectural Government
4-1 Shinko-cho Chuo-ku,
Niigata 950-8570 Japan

別刷請求先: 〒950-8570 新潟市中央区新光町 4-1
新潟県福祉保健部医薬国保課 渡邊 健吾

を行った。対象者数は96名、回答者数は38名、回収率39.6%であった。「研修体制等の評価」については、「指導医から十分に教えてもらえる」、「研修に必要な手技(症例)の経験が十分」等の理由で55.3%が満足し、「研修に必要な手技(症例)の経験が不十分」、「受け入れ体制が十分整っていない」等の理由で28.9%が満足していない。「プログラムの評価」については、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられる」、「希望する科を選択できる」等の理由で45.9%が満足し、「1分野あたりの研修期間が短い・長い」等の理由で35.1%が満足していない。今回の調査によりこのような改善すべき点が指摘され、再検討・改善が各臨床研修病院に望まれている。また、今回の調査で地域医療研修に関しては、8割を超える研修医が地域医療に興味を持ち、将来、約半数の研修医が地域医療勤務を前向きに考えている点は、魅力ある地域医療研修が、医師の地域偏在解消にとって有効な対策の1つであると考えられる。最後に、臨床研修終了後の進路については、7割が県内、2割が県外と回答した。医師確保を行うためには、臨床研修病院と関係機関が連携、上記の指摘事項の改善を図る必要がある。

キーワード：臨床研修、改善点、地域医療、医師確保

はじめに

研修医の立場からの臨床研修制度の改善点を探るため、県内全ての管理型・単独型臨床研修病院の臨床研修2年目の研修医を対象に、研修病院への応募動機、研修体制等・プログラムに対する評価、研修の到達度、地域医療・保健に関する評価等、臨床研修後の進路についてアンケート調査を行った。調査対象者数は、96名(市中病院54名、大学病院42名)、回答者数は38名(市中病院26名、大学病院12名)、回収率39.6%であった。

出身大学及び出身都道府県について

研修医の出身大学は、「新潟大学(63.2%)」、「新潟大学以外(36.8%)」であった。

研修医の出身都道府県は、「新潟県(57.9%)」、「新潟県以外(36.8%)」であった。

現在研修している病院に応募した動機(複数回答)について

研修医がそれぞれ在籍する病院に応募した動機について、「症例が多い(39.5%)」、「熱心な指導医が在籍(34.2%)」、「地理的条件が良い(31.6%)」が上位であった。

現在研修を受けている臨床研修の研修体制等の満足度について

研修医が研修体制等に満足しているかについて、55.3%が満足し、28.9%が満足していないと回答していた。

研修体制に満足している理由(複数回答)については、「指導医から十分に教えてもらえる(71.4%)」、「研修に必要な手技(症例)の経験が十分(61.9%)」が上位を占めていた。

研修体制に満足していない理由(複数回答)については、「研修に必要な手技(症例)の経験が不十分(54.5%)」、「受け入れ体制が十分整っていない(54.5%)」が上位を占めていた。

現在研修を受けている臨床研修のプログラムの満足度について

研修医が研修体制等に満足しているかについて、45.9%が満足し、35.1%が満足していないと回答していた。

プログラムに満足している理由(複数回答)については、「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられる(58.8%)」、「希望する科を選択できる(47.1%)」が上位を占めていた。

プログラムに満足していない理由(複数回答)については、「1分野あたりの研修期間が短い・

長い (84.6%)」が特に挙げられた。

臨床研修の到達目標について

臨床研修の到達目標が達成されるかの研修医の認識について、「達成されると思う (8.1%)」、「ほぼ達成されると思う (37.8%)」を合わせた割合は、約半数であった。「あまり達成されないと思う (35.1%)」、「達成されないと思う (5.4%)」を合わせた割合は、約4割であった。

地域医療について

研修医が地域医療に興味を持ったかについて、57.9%が興味を持ったと回答し、13.2%が興味を持ってなかったと回答した。

地域の医療機関の役割について理解しているかについて、「理解できた (17.6%)」、「ほぼ理解できた (67.6%)」を合わせた割合は、8割を超えていた。

将来、地域の医療機関で勤務を行っても良いかについて、「積極的に将来勤務を行ってみたい (20.6%)」、「後期臨床研修の一環であれば勤務を行っても良い (32.4%)」を合わせた割合は、約半数であった。反対に「専門医志向のため勤務は難しい」と回答した割合は、20.6%であった。

地域保健について

研修医が地域保健に興味を持ったかについて、35.1%が興味を持ったと回答し、37.8%が興味を持ってなかったと回答した。

医療と保健との関わりについて理解しているかについて、「理解できた (18.8%)」、「ほぼ理解できた (50.0%)」を合わせた割合は、概ね7割であった。

地域の保健サービスについて利用を勧めるかについて、「積極的に勧めようと思う (34.4%)」、「場合によって勧めようと思う (59.4%)」を合わせた割合は、概ね9割であった。

臨床研修後の進路について

臨床研修終了後の進路について、「臨床研修を受けていない大学病院 (31.6%)」、「臨床研修を受けた大学病院で引き続き (26.3%)」を合わせた割合は、概ね6割であった。「臨床研修を受けた市中病院で引き続き (21.1%)」、「臨床研修を受けていない市中病院 (10.5%)」を合わせた割合は、概ね3割であった。

臨床研修終了後の進路が新潟県内かについて、県内が約7割、県外が約2割であった。

臨床研修終了後、進路を選択する上で重要視する点として、「症例が多い (50.0%)」、「研修プログラムが充実 (50.0%)」、「指導体制が充実 (47.4%)」、「熱心な指導医が在籍 (42.1%)」、「地元・出身地・親の薦め (42.1%)」が上位を占めていた。また、「専門医を取得する上で有利である (36.8%)」と比し、「学位を取得する上で有利である (2.6%)」が少ない傾向にあった。

ま と め

今回のアンケートにより、臨床研修医から県内の臨床研修病院に対していくつかの改善すべき点が指摘された。

まず、研修体制等では、「研修に必要な手技 (症例) の経験が不十分」と「受け入れ体制が十分整っていない」との指摘があり、「手技 (症例) の経験」の向上と「受け入れ体制」の整備といった改善策が各臨床研修病院に望まれている。

次に、研修プログラムでは、「1分野あたりの研修期間が短い・長い」との指摘があり、研修医と指導医の意見を踏まえ「各研修期間」の再検討・改善が各臨床研修病院に望まれている。

今後、研修医が新潟県の臨床研修病院を選ぶ動機として、改善すべき点に対処する姿勢は、重要なポイントになると考えられる。

また、今回の調査で地域医療研修に関しては、8割を超える研修医が地域医療に興味を持ち、将来、約半数の研修医が地域医療勤務を前向きに考えている点は、魅力ある地域医療研修が、医師の地域

偏在解消にとって有効な対策の1つであると考えられる。

最後に、臨床研修終了後の進路については、7割が県内、2割が県外と回答している。今後、県内の臨床研修医等を増やしていくためには、各臨床

研修病院、関係機関、県の連携のもと、上記の指摘事項を改善し、更に魅力ある初期臨床研修を実施し、引き続き行われる後期臨床研修の充実・PRを図る必要があるものとする。

2 研修医による大学臨床研修病院群研修プログラムの評価

長谷川隆志・鈴木 栄一

新潟大学医歯学総合病院医科総合診療部

Problems in Compulsory Postgraduate Clinical Training — Evaluation for Niigata University Postgraduate Clinical Training Program by Postgraduate Clinical Training Doctors on This Program —

Takashi HASEGAWA and Eiichi SUZUKI

*Department of General Medicine,
Niigata University Medical and Dental Hospital*

Abstract

It was about one year and ten months after a program for compulsory postgraduate clinical training, Niigata University Postgraduate Clinical Training Program was carried out. In this program, questionnaire surveys by the postgraduate clinical training doctors for evaluation of this program were performed at each change of training course. To improve this program, the evaluation of this program by the training doctors was examined on the bases of these questionnaire surveys. An important problem was that the duration of every course was too short. Almost half numbers of the training doctors were not satisfied with this shortness. And we should pay an attention on that about 10 % of the training doctors were at least slightly unsatisfied with every estimated question. Because the total time for this program was fixed, the quality of each course should be improved.

Key words: Postgraduate Clinical Training Program, Clinical Training Doctors, Niigata University Medical and Dental Hospital

Reprint requests to: Takashi HASEGAWA
Department of General Medicine
Niigata University Medical and Dental Hospital
1-754 Asahimachi - dori Chuo - ku,
Niigata 951-8510 Japan

別刷請求先：〒951-8510 新潟市中央区旭町通1-754
新潟大学医歯学総合病院医科総合診療部

長谷川隆志